

<目次>

●「ストップ・リニア！訴訟」が結審、判決は7月18日

▲ お知らせコーナー

☆ 2/17～22 第13回中原・平和をねがう原爆展

☆ 2/19(日)第31回子どもの未来をひらく川崎集会

☆ 2/21(火)講演「川崎市でも学校給食を無料に」

☆ 2/25(土)ゆめシネマ 23「標的」

☆ 2/28(火)第15回輝け！高齢期・かながわのつどい

☆ 3/12(日)第12回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

★ 編集後記

●「ストップ・リニア！訴訟」が結審、判決は7月18日

J R東海のリニア中央新幹線計画の沿線住民らが原告となり、工事計画の認可を取り消すよう国に求めている「ストップ・リニア！訴訟」の最終弁論が2月3日、東京地裁でありました。

原告と原告側の弁護士6人が意見陳述を行い結審しました。市原裁判長は、判決期日を7月18日としました。

意見陳述を行った川崎市に住む原告の天野捷一さんの陳述の一部を紹介します。

リニアの実現を国民が強く望んでいるとは思えません。

リニアの採算性、どれだけの国民が実現を願っているのか肝心なことを推し量るマーケティング調査も世論調査もJ R東海は一切やっていないのです。

建設費は今や10兆5千億円に膨れ上がり、2027年開業の目途どころか一体いつ開業できるのか全く不明の状況です。

2016年には突然3兆円の財政投融資がわずか2日間の国会審議で決まりました。

工事が延びれば更に建設費が積みあがり、将来国民が負担することになるでしょう。

このようなりニアエ事はだちにやめるべきではありませんか。

私たちのリニア新幹線に関する活動について述べます。

リニア新幹線の沿線では、この事業が工事中、供用後に沿線の自然環境や住民生活に被害をもたらすことを心配して、建設発生土の処理場や工事用車両の走行による騒音・振動・大気質の悪化を止めさせようとする住民組織が相次いで生まれました。

そして2013年2月にリニア新幹線沿線住民ネットワークを結成しました。

2015年11月には沿線を中心に5千人余りがリニアエ事の実施計画の容認に反対して行政不服審査法に基づく異議申し立てを国交省に行いました。

もう7年も経つのにまだ裁定が出ていません。

国交省もJ R東海同様に国民の声を真剣に受け止めていないのです。

2016年5月、私たちはやむを得ず、リニアエ事実施計画の認可取り消しを求めてこ

の訴訟を提起しました。

多くの原告やサポーターは年を経るごとにリニアエ事はやめるべきだという気持ちを強くしています。

そしてリニア事業そのものを考え直した方がいい、そういう皆さんの強い意志がこの裁判を支えてきました。

私たちは、JR東海が工事を直ちに中止するよう強く求めます。

トンネルや、景観を台無しにする高架橋をつくってしまったら豊かな自然も住民の安らかな生活も戻ってきません。

※川崎では「リニア新幹線を考える東京・川崎市民連絡会」が粘り強く反対運動を続けています。

会のホームページ <http://web-asao.jp/hp/linear/cat321/cat573/>

▲ お知らせコーナー

☆第13回中原・平和をねがう原爆展

2/17(金)～22(水) 10時～17時

中原市民館 ギャラリー

主催：中原・平和を願う原爆展実行委員会

後援：川崎市平和館・川崎市教育委員会

☆第31回子どもの未来をひらく川崎集会

2/19(日) 10時開会

法政大学第二中・高等学校にて

講演・西郷孝彦さん（元世田谷区立桜丘中学校長）

校則をなくした中学校 –たったひとつの校長ルール–

資料代：500円

<http://miraishuukai.jugem.jp/>

☆講演「川崎市でも学校給食を無料に」

2/21(火)18時半より

川崎市総合自治会館/大会議室1～3

講師：千葉工業大学准教授 福島 尚子氏

・給食無償の進展状況

・福祉としての給食、教育としての給食

参加費無料

主催：日本共産党川崎市議会議員団 044-200-3360

youtube 配信を行ないます。

お申し込みは info@jcp-kawasakigr.jp まで
<https://onl.la/m75q7Ub>

☆ゆめシネマ 23 「標的」

元慰安婦の証言記事はねつ造？ 真実？

植村隆さんアフタートーク（各回とも）

2/25(土)

① 10 時

② 13 時

③ 16 時

入場料：一般 1000 円 障 500 円 学 200 円

会場 かわさきゆめホール

申し込み問い合わせ

044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

☆第 15 回輝け！高齢期・かながわのつどい

—— in かわさき ——

憲法と高齢者の人権とくらしをまもろう

～軍拡 NO！ 社会保障の充実を求める政治を～

記念公演 松元ヒロ

特別講演 市古ひろかず

2/28(火) 10 時半

川崎市産業振興会館

資料代 800 円（要予約）

☎ 044-266-7532（受付：月～金 10 時～ 17 時）

s.shirovani@kawaikyo.or.jp

☆第 12 回原発ゼロへのカウントダウン in かわさき(集会&デモ)

3/12(日) 11:00

ゲスト：金子勝(経済学者) 北村賢二郎(弁護士)

問合せ：044-211-0121（川崎合同法律事務所・三嶋健）

メール：kibounotsubasa@gmail.com

（かもした元）

<https://genpatsuzero.net/>

★ 編集後記

『IWJ』をご存じでしょうか。

インディペンデント・ウェブ・ジャーナル（略称：IWJ）は、ジャーナリスト岩上安身が2010年12月に設立した、市民によって直接支えられるインターネット報道メディアです。活動費は、市民の定額会費と寄付・カンパによってまかなわれており、新しい時代の「公共性のある情報インフラ」を目指しています。

『週刊金曜日』という雑誌もあります。1993年11月5日に創刊、当時の編集委員は次の方々です。

石牟礼道子・井上ひさし・久野収・椎名誠・筑紫哲也・本多勝一と、そうそうたるメンバーです。

編集委員が中心となり読者から出資を募り創刊され、「スポンサーや広告主に頼らず、市民の立場から主張できるジャーナリズム、権力を監視し物申せるジャーナリズム」を目指しています。

「日本で唯一の、タブーなき硬派な総合週刊誌」を標榜し、反戦・人権・環境問題など市民運動・市民活動の支援、体制批判を主に扱っています。

常にタイムリーな社会問題を深掘してとても勉強になります。

どちらも貴重な情報源です。

2018年9月から代表取締役社長兼発行人となったのが、今月のゆめシネマで取り上げた「標的」の主人公である植村隆さんです。

植村さんは、1991年、朝日新聞記者だったころ、元慰安婦だった韓国人女性の証言を記事にしますが、その内容を巡って歴史修正主義の立場に立つジャーナリストや、政治家から総攻撃を受けました。

今回の上映会では3回ある上映の全てでアフタートークをしていただけるとのこと。どんな話が聞けるか楽しみです。（Y）